

食にとどまらない楽器で感動を

とうふるーと大使

イワミノフ アナミール アゾースキーさん（浦富）

とあるコンサートで奏でる笛の音色。よく見るとその楽器は、えっ！とうふちくわ？！。時折かすれるものの、確かに楽器での演奏です。

とうふちくわと言え、300年の歴史を誇る鳥取県の特産品であり、『食べるもの』としか皆さん思い浮かばないと思います。しかし、イワミノフ アナミール アゾースキーさんは、その常識を覆し、『楽器“とうふるーと”』としても、とうふちくわを世に送り出しました。

イワミノフ アナミール アゾースキーさんが、とうふるーとによる演奏を始めたのは、4年前。ちくわ笛の巨匠住宅正人すみたくさんに弟子入りし、大特訓。演奏が終わると、とうふちくわを食べるそうですが、特訓中は、1,000本以上ものとうふちくわを食べたとのこと。1年後なんとか演奏できるようになり、人前で演奏してみたものの“音がでない・・・”それでもあきらめず、明るく前向きに取り組み、今では50曲も吹けるようになりました。

「やわらかくて扱いにくい、やわらかいやさしい音を発する“とうふるーと”で感動を与えていきたい。」と意気込むイワミノフ アナミール アゾースキーさん。またの名“河下哲志さん”の究極の感動を与える“とうふるーと”奏者としての活動に目を離せなくなりそうです。



渚交流館での演奏会の様子

岩美南小学校区統合保育所の
正式名称が決定

岩美町立 みなみ保育所



平成23年4月に開所する岩美南小学校区の保育所の正式名称が決定しました。この保育所は、南小学校区内にある保育所を統合して設置するもので、現在、岩美南小学校敷地内に建築中です。この統合により、現在休所中の蒲生、小田の各保育所と本庄保育所、併せて私立保育園である岩井保育園がすべて廃所となり「みなみ保育所」に一本化されます。

新名称を決定するために校区内の各地区自治会長、本庄保育所・岩井保育園の保護者会長の方々にお集まりいただきご意見をいただきました。また、一部保護者の方へのアンケートも実施させていただきました。

様々な意見がありましたが、統合という形を採ることで地区名に偏らない新名称が強く望まれ、町全体を見据えた中で南小学校に由来するこの名称に落ち着いたところです。また、小さな子どもの通う保育所らしく、ひらがな表記の名称としました。

問い合わせ先 住民生活課 ☎73-1415